



# 藤本 みのる 通信

Vol 288

2018年4月24日発行



大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 国保税が1人年1万円の引き下げへ

国民健康保険税引き下げは、今期も重点公約に掲げ、過重な負担の実態を訴えるとともに、27年度からの公費拡充をふまえ、「引き下げは可能だ」と繰り返し質問し、早期実現を求めてきました。

国民健康保険は国民皆保険制度の最後の砦として、自営業者に加え、非正規雇用者や無職者、74歳までの高齢者などが加入しています。他の健康保険と違い事業主負担がないため保険税が高いこと、高齢者が多いため医療費が多く保険財政が厳しいなどの構造的な課題があり、国が公費負担を増やことが求められていました。全国知事会の要望「1兆円増額」からすると不十分ですが、「高すぎる国保税の引き下げを」という声が国を動かし、市を動かしたことは重要な成果です。国の公費拡充に期限はありません。いっそうの拡充を求めていきます。

県が示した国保事業費納付金を県内で比較すると、大月市は27市町村で上から8番目、一人当たり集めるべき保険料額は21番目になります。なお、生活が厳しい方への対応は引き続き注意を払います。何でもお気軽にご相談ください。

### 30年度から国民健康保険制度が変わります

国が3400億円の公費拡充を行い、県と市がともに保険者となります。この機にやっと高すぎる国保税が引き下がります

#### 保険税の算定方式が変更

- 所得割→引き下げ
- 資産割→廃止
- 平等割→すえ置き
- 均等割→引き下げ

#### 国民健康保険財政調整基金

1億5800万円（28年度末）  
→2億円（29年度末）

#### 国保加入者数（29年度）

6378人（市人口25226人）  
3919世帯、世帯比37.2%

## 【藤本みのる活動日誌】

- 4月12日(木) 地域づくり推進ワーキング×市議会 意見交換会
- 4月14～18日 地方議員研修交流講座(日本共産党伊豆学習会館)
- 4月20日(金) 介護事業者自主的交流会(笑いの家とのうえ)
- 4月21日(土) 歴史講演会「長脇差と葡萄」(大月市郷土研究会)
- 4月22日(日) 市政協力委員長委嘱式・大月市消防団辞令交付式(部長辞令)